

バリアフリー化に向けた政府の取組の全体像
(ユニバーサルデザイン2020 関係府省等連絡会議)
第3回街づくり分科会 参考資料1)

資料4-2

「ユニバーサルデザイン2020」 資料編(街づくり)

(抜粋版)

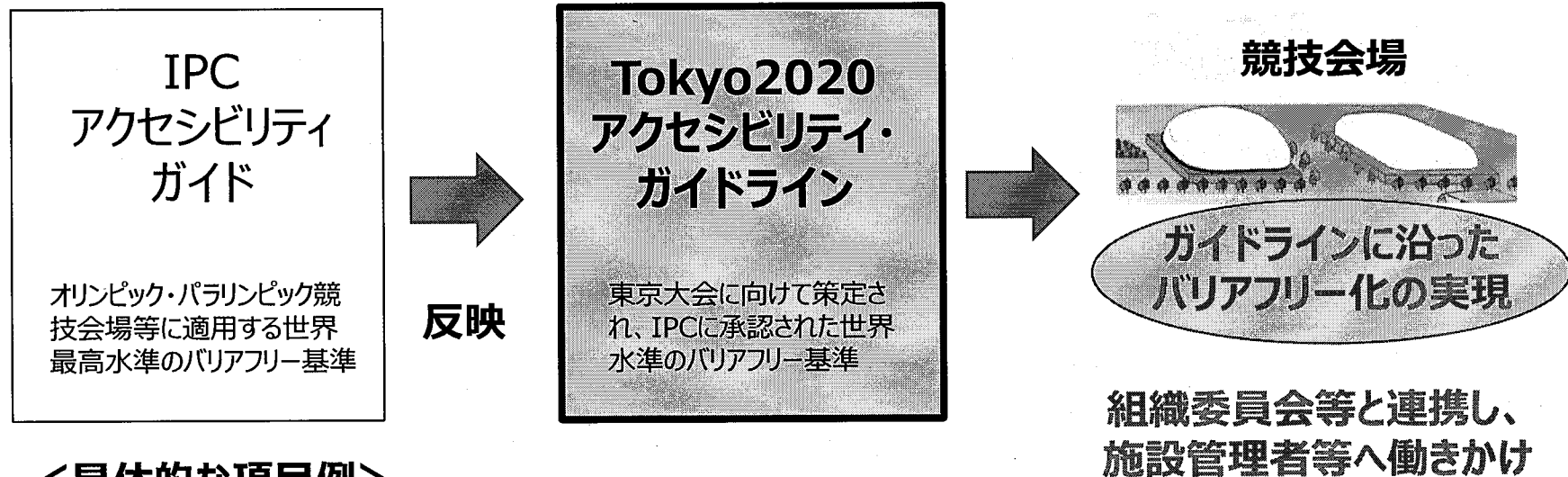
資料目次

1. 国の所管する競技会場における
バリアフリー化の推進—新国立競技場—
2. **競技会場におけるバリアフリー化の推進
(その他)**
3. 競技会場周辺エリア等における道路の
バリアフリー化の推進
4. 競技会場周辺エリア等における都市公園の
バリアフリー化の推進
5. トイレのバリアフリー化調査について
6. 主要鉄道駅におけるバリアフリー化の推進
7. 都内主要ターミナル等における交通結節
機能の強化・バリアフリー化
8. 都市交通におけるバリアフリー化の推進
9. 成田、羽田(国際線)を中心とした空港の
バリアフリー化の推進
10. リフト付バス・UDタクシー車両の導入促進
11. 交通バリアフリー基準・ガイドラインの改正
12. **建築設計標準の改訂**
13. 観光地のバリアフリー情報提供促進
14. ユニバーサルツーリズムの普及促進に向けた
取組
15. 全国の主要鉄道駅周辺(特定道路を含む)の
バリアフリー化の推進
16. バリアフリー基本構想の策定促進
17. ピクトグラムのJIS化の取組について
18. パーキング・パーミット制度の導入促進方策の検討
19. 鉄道における車いす利用環境の改善①
20. 鉄道における車いす利用環境の改善②
21. 全国の主要な旅客船ターミナルのバリアフリー化の
促進
22. 船旅メジャールート、旅客船のバリアフリー化の促
進
23. 航空旅客ターミナルにおけるバリアフリー化の推進
24. 歩行者移動支援サービスの実証
25. パブリックタグの登録・設置推進
26. オープンデータ環境の整備
27. 車いす利用者等のためのバリアフリールートや所要
時間を提供する乗換検索システムの実現
28. 走行位置案内を行うスマートフォンアプリの
導入実現
29. 都市サービスの高度化
(IoTおもてなしクラウドを活用したサービス連携)
30. 多機能トイレのマナー改善に向けた取組の
推進

2. 競技会場におけるバリアフリー化の推進（その他）

○大会で使用するその他の競技会場についても、組織委員会等と連携して、国際パラリンピック委員会（IPC）で承認された世界水準のバリアフリー基準（Tokyo 2020 アクセシビリティ・ガイドライン）に従ったバリアフリー化に向けて、施設の整備や施設管理者等への働きかけ等を行う。

<イメージ>



<具体的な項目例>

- ・エレベーター（有効寸法、操作盤の位置等）
- ・トイレ（有効寸法、機能分散のあり方等）
- ・座席（アクセシブルな座席の数、座席のあり方等）
- ・通路における傾斜路、階段、路面等のあり方 等

12. 建築設計標準の改訂

○東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を契機に、「Tokyo2020アクセシビリティガイドライン」の策定等、誰もが安全で快適にアクセスできるユニバーサル社会実現のための動きが加速化している。このため、建築設計標準の内容の充実化を図り、全国のアクセシブルな環境整備を促進する。

高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準

●設計標準とは 高齢者や障害者がより利用しやすい環境を促進するために、建築主、設計者に対する指針

●記載事項

- ①建築物バリアフリーの全体計画の考え方
- ②単位空間の設計(トイレ、出入口、廊下等)
- ③設計事例集(図面、写真を用いて優れている箇所を解説)

※他にもバリアフリー法、基本寸法(車いすの大きさなど)等の情報を記載

●単位空間の設計記載項目(抜粋)

●単位空間の設計(記載例)

トイレの単位空間設計

■設計のポイント

- 1) 個別機能を備えたトイレの設置
- 2) 多機能トイレと簡易型機能を備えたトイレの設置
- 3) 多機能トイレの設置

■記載項目

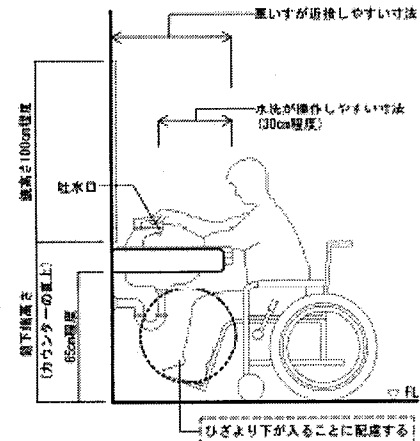
配置、設置数、出入口、広さ、戸の形状、設備等を具体的な寸法で記載

■記載例(出入口の有効幅員)

原則80cm以上、利便性を考慮すると90cm以上が望ましい
出入口前には車いす転回スペース(140cm角)を設ける等



・壁掛け式大型ベッドのある
便所



改訂

高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準 [改訂版(平成28年度予定)]

- Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドラインの基準を反映(ホテル客室など)
- 聴覚障害者のための文字情報設備による情報提供の充実
- バリアフリートイレへの改修事例を追加 等